

二部地区活性化だより

野上川の風

発行
二部地区活性化推進機構

編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159



●出雲街道 道しるべ (二部保育所前)

出雲街道
道しるべ

故くは栄えた
宿場街

往時を偲ぶ
本陣址

二部の誇れる
歴史と文化

先人たちの
思いを

みちしるべに
託して

この歴史ある
二部宿を

後世に
残したい

年頭にあたり

会長 田邊 公教

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしく願い申しあげます。

昨年は、年初めの豪雪に始まり、東日本大震災、台風十二号の被害等大変災害の多い年でした。

今年こそは、平穏な年であってほしいと思います。

さて、二部地区活性化推進機構では各部会の皆さまにより、継続する事業や、新規事業に鋭意取り組んでいただきました。

特にファンクラブ部会と産業振興部会が中心になって年二回実施される、ふるさと小包「たべてごしない二部の味」は通算七回を迎えだいたい定着されたようです。

また福岡では、福岡分校を活用して農家食堂「上代学校」が営業を開始されて反響をよんでいます。

共生の里づくり協定も締結されましたがこれらの成果が上がれば、二部地区に新しい特産品の育成に繋がり山菜の販売等と併せその成果が期待されます。

住みよい環境部会で取り組まれた出雲街道の道しるべも、その反響が期待されます。残された事業もありますが新しい年に向かって二部地区の活性化のため懸命に頑張りたいと思います。

皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

『手づくり出雲街道道しるべ』

住みよい環境部長 影山 辰雄

私が担当している部会で新しい事業は出雲街道の道しるべ事業です。

ご案内のとおり「出雲街道今昔物語」は、元公民館長安達 允氏が主筆され日本海新聞に掲載された今昔物語に収斂されている。その効果により最近は一県内外からのツアー客も年々増えている。本陣跡・旧街道を案内する道しるべを設置する声が内外から上がっていた。

そこで活性化事業に提案したところ事業が承認された。しかし、いざ事業を実施するに当たり不安の方が多かった。だが実施してみると、お世話になった二部地区の有志の方、部員の方の技術力の高いこと、想像以上の出来栄に新聞記者の方も素人細工とは思えないと驚いておられた。

温かい風が吹く頃に県内外の方が道しるべの前で記念写真を撮られる光景を想像すると関わった一人として喜びにたえない。

多くの先人が大事にして来られた身近にある貴重な文化遺産「二部宿」をもう一度見直す良い機会かも知れないと思うこの頃です。



出雲街道道しるべ (旧JA二部支所前)

『豆でまめな二部地区を』

産業振興部長 車 睦宏

昨年「共生の里」事業の一環として二部地区の特産物に何か良い農産物はないものかと協議検討する中で二部地区に導入しても作りやすい「インゲン豆・えだ豆」の生産に決定しました。早速、四月十五日と五月二十七日に栽培研修会を開催。生産希望者全員に豆の種を配布しました。

活性化事務局でも試験圃場田として二部の仲田力さんの圃場を借用して四月上旬に耕運整地を実施。普及所の鹿島所長と川上普及員の指導の下、施肥播種を行い豊作を祈りましたが一部分が大雨の被害を受け発芽しなかったり雑草取りに手が回らず、豆が雑草の中で窮屈そうにしていたりで豊作とはいかなかったもののまずまずの収穫量でした。

その他にも、盆花販売、津田かぶの育成にも取り組み成果を残しました。

当初の目標にはまだまだほど遠いですが今後も二部地区の活性化と特産物の開発を目指して皆さんと一緒に頑張って頑張っていきたいと思えます。ご指導ご協力宜しくお願い致します。



盆花販売の様子

『郷土の味を全国に』

ファンクラブ部長 影山千世子

ファンクラブ部会では産業部会と連携してふるさと便「たべてごしない二部の味」として夏と冬の二回、北海道から沖縄まで全国に発送しています。今回で七回目となりますが二部地区で採れた農産物や加工品を品揃えし、又、有志による心のこもった手作りの作品、品物や野上川の風、食品の特長、食べ方等の説明書、二部地区の主だった名所、地図を同封して送っています。

主に、中元、歳暮に使って頂く方が沢山あり、二部地区活性化推進機構の活動を知ってもらうことにも役立っています。

お蔭様でふるさと便も行事として定着して、とても喜んでいきます。

皆様の協力があるからこそ感謝し、何事も長く続く秘訣だと思っています。送られた方はふるりの香りの詰まった品物、気配りの作品等に郷土を思い出し感動と喜びになると信じています。また、二部地区のマップ作成も新年早々取りかかりどんなものが出来上がるか楽しみです。

何事も人と人とのつながりと協力が大切と痛感いたしました。今後共皆様のご協力、よろしくお願いいたします。



ふるさと小包発送式

『友愛の心と心の支え合い(愛)』

福祉ボランティア部長 中田 寿国

当部会では毎年実施している、町社会福祉協議会から協力の依頼があった、ボランティア活動の溝口デイサービスにおける障がい者の屋外外出時の車椅子の補助、介助を二回、(六月、十月)部員五名ずつにより実施、場所はいずれも「とっとり花回廊」でした。

独り住まいの方を対象に、友愛訪問を本年度は是非実施しようと夏頃から計画、部会を開催して十二月のクリスマスの時期までにはプレゼントできるように準備しようと話し合いました。

そこで品物は、実用品としても利用でき装飾品としても使える品にしたらとの提案があり検討の結果タオルで作った壁掛け(手拭きにも使える)を作ることにしました。

制作は二部地域の四名の方が真心こめて作って下さいました。

そして八十歳以上の独り暮らしの高齢者二十世帯を訪問し便りを添え手渡しました。大変に喜んでいただ好評でした。



友愛訪問

『ネギを食べて寒い冬を乗りきろう』

趣味と生きがい部長 浅田恵美子

部会の事業の一つとして十二月八日、ネギ料理講習会を開催しました。

当日は、畑池のネギ生産者の梶間夫妻を講師に十五名の参加者があり楽しく、又新しい発見がありと有意義な会となりました。

その他にも、雑穀米を使った料理も作り、身近にある材料を使った、体にも良い料理講習会でしたので、ネギ、雑穀米の効能等を紹介しました。

『ネギの栄養、効果』

- ・血行を良くして、体を温めてくれます。
- ・ビタミンB1の吸収を高めてくれるため、疲労回復効果大です。
- ・カロチン、ビタミンCも多く風邪への予防効果大で「ネギ味噌」・「ネギ塩だれ」として使用。

『雑穀』

雑穀には食物繊維や抗酸化成分がたっぷり。お塩も入れてミネラル補給。「雑穀ご飯」「根菜たっぷりつぶスープ」旬の里芋と根菜をたっぷり入れたお汁で体もぽかぽかです。

雑穀ひえは食物繊維が多く体を温める効果が強いです。



ネギ料理講習会

健康スポーツ部会の活動を振り返って

健康スポーツ部会長 大森 英一

平成23年度の活動目標として

- ① カローリング ② 二部地区運動会
③ グランドゴルフ

を掲げて活動을続けております。

開催時期を配慮した為、計画した各行事は既に終わりましたが、いずれも好評をいただき、スポーツ部員一同大変喜んでおります。

中でもカローリングは、2年前の競技ルール研修から始まり、昨年の第1回会長杯に引き続き、本年7月の第2回、11月の第3回会長杯を開催することができました。昨年は賞品に伯耆牛を使い、本年は地元の農産物を出すといったアイデアが好評をいただき、来年度もぜひ取り組みたいと思っております。

グランドゴルフについても2年目となり、気楽な雰囲気を楽しむことができました。やってみれば皆さんレベルが高く、スポーツ部員編成チームなど足元にも及びませんでした。この行事も定着できればと考えております。

もう一つ感動したのが運動会です。昨年中止だったということもありますが、協力していただいた実行委員の皆さんの平均年齢が例年になく若いのに気付き、二部地区は「しばらくは大丈夫!」と思えたことです。

各行事に協力いただいた関係者の皆さんに、改めてお礼申し上げます。



町民運動会二部地区大会新種目（勇気農業）

祝

第2回地域再生大賞 優秀賞受賞

地域活性化に取り組む団体を支援するために、全国の地方新聞社と共同通信社により合同で創設された「地域再生大賞」で二部地区活性化推進機構が、優秀賞を受賞しました。

これは各都道府県から原則1団体ずつ推薦された50団体(北は北海道から南は沖縄まで)の内、鳥取県内から、二部地区活性化推進機構が推薦されたものです。

会員皆様の日頃の活動が評価され今回の受賞となりました。

第28回 たたらまつり開催

二部公民館では二部地区活性化推進機構との共催により、平成24年2月25日(土)～27日(月)まで午前9時～午後5時(27日は正午まで)開催されます。

地域の方の作品展示や特別展(桃と菖蒲の節句)を開催します。ぜひ、ご鑑賞下さい。

活動日誌メモ

(月日) (内容)

平成二十三年

(月日) (内容)

七、二七	ふるさと小包準備	七、二八	ふるさと小包発送式
七、二六		八、一〇	盆花販売準備
七、二五	東亜青果出荷打合せ	八、一一	盆花販売
七、二四	カローリング大会	八、一八	福島県相馬地方 町村議会議長会視察
七、一九	健康スポーツ部会打合せ	八、二二	ヨシ刈り
七、一八	共生の里打合せ	八、二三	学生人材バンクヒアリング
七、一四	生涯学習実践道場	八、二六	津田かぶ講習会
七、一〇	役員会	八、二八	ヨシ集草
六、二六	二部地区活性化推進機構総会	九、五	全国町村会ヒアリング
六、二五	ふるさと小包打合せ	九、六	津田かぶ栽培視察
六、二〇	一斉清掃	九、一二	町民運動会二部地区大会打合せ
六、一八	県土整備局打合せ	九、二五	グランドゴルフ大会
六、一五	花と青果の市場まつり (東亜青果)		
五、二七	いんげん・枝豆講習会		
五、二五	ラジオ放送		
五、二三	東亜青果農産物販売打合せ		
五、二一	山菜会打合せ		
五、二〇	県土整備局打合せ		
五、一八	東亜青果打合せ		
四、二八	区長協議会		
四、二五	いんげん・枝豆栽培講習会		
四、二二	山菜集荷説明会		

あどがき

昨年は県西部の豪雪、東日本大震災の発生、台風と自然の猛威にさらされた一年でした。
特に東北地方の方は苦難に耐え、人々との「絆」により立ち直ろうとされているところだ。
当活性化推進機構におきましては各部に於いて新聞にも活動内容が度々掲載される等活発な事業展開がありその内容紹介を中心とさせていただきます。